

苦手な野菜も みんなとおいしく

子ども食堂で協力して食事の準備をする子どもたち



地域に親しまれる施設として、子どもたちが寄り合う場として。中津市の特別養護老人ホーム「さわらび」は昨年7月、子ども食堂を始めた。施設がある今津校区の子どものたちが対象。オープンスペースで月に2回、温かい食事を提供する。長期休暇中の平日は学習室としても、中学生向けに開放している。

子ども食堂

月2回、宿題や合唱も



食後は宿題や遊びの時間。ギターに合わせて楽しく合唱

中津市の特養「さわらび」

午後5時を過ぎ、子どもたちが集まってきた。この日のメニューはカレーライスのスープ、ゆで卵、フルーツポンチ。誕生日ケーキもある。14人の参加者全員で配膳をして、にぎやかに「いただきます」。食事後は宿題の続きをしたり、運動会に向けて練習中のエイサーを披露したり。ギターに合わせて、「大きな古時計」を元気に歌った。

弟と通う男児は「おいしいご飯が食べられて、勉強を教えてもらえて、いっぱい話ができるし聞いてもらえる」。保護者の1人は「学校や家とは別の場所、いろいろな学年の子と触れ合える。好きではなかった野菜も、みんなと一緒に食べられるようになってきた」と喜ぶ。

子ども食堂の開設は古川信房理事長が発案。地域密着型の社会福祉法人として、貢献策を模索する中、エイサーは必ずあると考えた。参加費は100円で施設長、事務長らを中心に運営。

施設の管理栄養士が中心となり、給食の契約業者もボランティアで調理する。開設時には、小中学校を通じ全ての家庭に案内を出した。「気持ちが悪くなる子一人でもいればという思いだった。食事に困る子どもや、課題のある家庭だけが対象というわけではない」と宝珠山照人施設長は言う。

入居者と一緒に取り組む活動も模索する。閉鎖的で単調になりがちな施設生活に、元気な子どもたちとの接点ができる。子どもたちも、かわいがってくれるお年寄りとの関わりが持てる。この環境を互いにとってプラスにしたい考えだ。

施設データ

社会福祉法人 聖信会

住所 〒879-0103 大分県中津市植野241番地1

TEL (0979)33-1138

理事長 古川信房

運営施設(事業所) 特別養護老人ホームさわらび、ショートステイさわらび

